

# 多摩支部会報第 56 号

2023 年 10 月 16 日発行

第 100 回箱根駅伝予選会特集号

# 紫魂不撓

旅路は、険しいかもしれない。

(明大スポーツ より)

だが、紫魂を胸に、不撓不屈の精神で

走り続けた先には、きっと輝かしい栄光が待っている。



## 第 100 回箱根駅伝予選会、明治大学、2 位通過。

第 100 回箱根駅伝予選会が、10 月 14 日（土）、秋の晴天の下、立川駐屯地・昭和記念公園で、史上最多の 57 チームが参加して行われ、明治大学は、2 位通過、来年 1 月の「箱根駅伝」の出場権を獲得した。いざ「箱根路」へ。

順位	選手名	学年	タイム	順位	大学名	タイム
25	児玉真輝	4	01 ; 02 ; 30	1	大東文化	10 ; 33 ; 39
34	吉川響	2	01 ; 02 ; 41	2	明治	10 ; 34 ; 38
35	綾一輝	1	01 ; 02 ; 46	3	帝京	10 ; 35 ; 08
52	杉彩文海	4	01 ; 03 ; 13	4	日本体育	10 ; 36 ; 42
60	大湊柊翔	1	01 ; 03 ; 29	5	日本	10 ; 36 ; 54
101	堀颯介	2	01 ; 03 ; 54	6	立教	10 ; 37 ; 06
106	森下翔太	2	01 ; 03 ; 58	7	神奈川	10 ; 37 ; 20
138	古井康介	2	01 ; 04 ; 12	8	国土館	10 ; 37 ; 21
140	山本樹	2	01 ; 04 ; 14	9	中央学院	10 ; 37 ; 27
182	甲斐涼介	3	01 ; 04 ; 40	10	東海	10 ; 37 ; 58
(選手名の順位は、総合順位)				11	東京農業	10 ; 39 ; 05
				12	駿河台	10 ; 39 ; 40
				13	山梨学院	10 ; 39 ; 47

# 明大 安定の走り

## 2位 ジョギング量増効果



予選会を2位で通過した明治大の選手たち（14日、立川市で）＝桐山弘太撮影

6月の全日本大学駅伝の予選で敗退するなど波乱の多いシーズンを過ごしてきた明治大。この日の選手たちは、安定した走りで、6年連続の箱根駅伝への出場権をつかみとった。

チームは今年の本大会で12位とシード権を獲得できず、7位までが通過する全日本駅伝の予選も10位に沈んだ。こうした中、8月に駅伝監督が辞任し、競走部全体の副監督だった山本豪監督(50)が後任を務めた。

予選会まで時間がない中、少しでもチームの走力を向上させようと、山本監督が目をつけたのはジョギングの量。選手たちのペースが遅く、時間も60分程度と決して長いとはいえないものだったため、朝練や通常の練習、練習後のクール

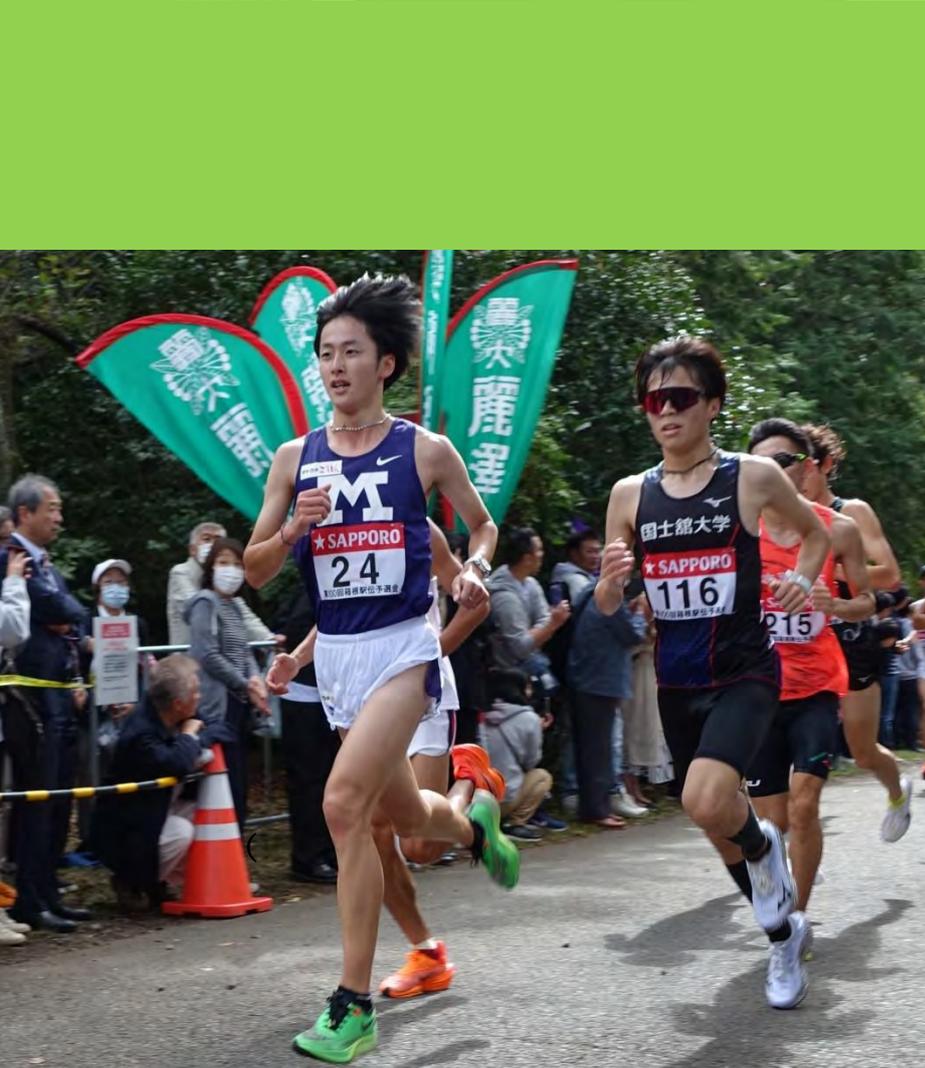
ダウンで行うジョギングを各10分余分に走らせた。

この日の予選会ではその効果が発揮された。チーム1位で全体でも25位と奮闘したエース・児玉真輝選手(4年)は「上り坂で前を詰められたという感覚があった」と手応えを語る。

レース後、山本監督は「5位くらいかなと思っていたが、選手たちはよく頑張ってくれた」とたたえた。一方で本大会での目標は、シード権を得る8位。山本監督は現時点での選手の仕上がりを7、8割としており、「増やしたジョギングの量に慣れさせ、本大会に生かしたい」と語った。

(2023年10月15日読売新聞 転載)

編集後記：10月14日(土)行われた「第100回箱根駅伝予選会特集号」として、「多摩支会報第56号」をお届けいたします。今回の会報発行にあたりまして、読売新聞社、明大スポーツ新聞部、明大サポートからの多大なご協力を頂きまして、深く感謝申し上げます。多摩支部の皆様、来年の「箱根駅伝」をご覧になる時のご参考までに、コース案内を付けさせていただきました。母校の活躍に力強い応援をお願い申し上げます。(広報委員会・佐々木一郎、柴田健彦)



(堀 颯介 2年)



(杉 彩文海 4年)



(大湊 柊翔 1年)

(撮影：佐々木一郎)





まずは常にシードをとれるようにし、  
49年以来の優勝を目指したい。

(読売新聞〈2023年9月27日〉転載)

## 園原建弘明大競争部監督

襷のメモリー  
第9部 名脇役 2



### 箱根駅伝

箱根から世界へ。その理念を、かつて競歩で実現した箱根ランナーがいた。  
20校が出場

した第60回大会の1984年、明大の8区を担ったのが園原健弘さん(60)だった。前年の83年には世界選手権20キロ競歩に出場。国内トップウオーカーが「万流」に挑んだ。

長野・飯田高で長距離を始めたが、部内事情で競歩に転向。二元々、瀬古利彦さんに憧れていた。挑戦できるのは本当にうれしかった。

そのほら、たけひろ。1962年、長野県生まれ。明大からアシックス。92年バルセロナ五輪50キロ競歩代表。20、50キロ競歩元日本記録保持者。ランニングインストラクター。明大競走部監督。

# 元日競歩 2日後に8区

園原 健弘 (1984、85年出場、明大)



競歩で世界を目指しながら箱根駅伝8区を2度走った明大の園原健弘—本人提供

#### 園原健弘の箱根駅伝成績

	区間	時、分、秒	区間順位	チーム
1984年	8区	1.12.50	14位	18位
85年	8区	1.10.08	9位	15位

た。普段は朝練習だけをランニングに充てたが、それでもチーム内で5、6番手の実力だったという。競歩界には、駅伝との掛け持ちに、フォームを乱すとの批判的な意見もあった。20日にきつちり出場。そのレースから中1日の強行軍

た。だからこそ、本職も手を抜かなかった。日本競歩の伝統行事に「元日競歩」がある。箱根駅伝路の前日だ。園原さんは、84年も「日は無理だったので」。そこで、後半に遊行寺坂の難所がある8区への起用

で、初の箱根に挑んだ。「チームで一番上の話だったので、5区という話もあったけど、さすがに翌日は無理だったので」。そこで、後半に遊行寺坂

## 卒業後「50キロ」で五輪

となった。たすきを受けたのは18位。競り合っていた他校の監督が「競歩の選手に抜かれるぞ」と叫んでいるのを聞き、力がわき上がった。区間14位の力走で、順位も一つ上げてみせた。

「競歩と違って、ものすごい応援に驚いた。元日競歩の影響も感じなかったし、とにかく楽しかった」。翌年も同様に、元日競歩を経て8区に登場。チームが最下位の15位に沈む中、区間9位と大健闘した。

「区間1桁で走れ、長距離でもそこそこやれるんだと示せて自信になった。同時に、やっぱり自分には競歩しかない」と、覚悟する区切りにもなった。

卒業後はアシックスに進み、競歩で世界を目指した。学生時代に「万流に挑んで成果を残したことで」どん

「今、五輪に出たことと同じくらい、箱根駅伝に出た肩書が大きい。改めて箱根の大きさを感ずる」。現在は明大競走部監督として、母校の指導に当たっている。

「今も箱根に関わるのは幸せなこと。まずは常にシードをとれるようにし、49年以来の優勝を目指したい」。部全体を見渡しながら、箱根での復権へ、まだまだ歩き続ける。

(編集委員 近藤雄二)

これまでの「襷のメモリー」は、QRコードから読めます。

# 箱根駅伝コース (往路)

(読売新聞オンラインより)



1月2日午前8時  
往路スタート  
1区 21.3km



## 鶴見中継所

ほんの一眼でチームメートをねぎらい、励まして送り出す。たすきリレーは駅伝の見どころのひとつだ

↓ 2区 23.1km



## 戸塚中継所

↓ 3区 21.4km



## 平塚中継所

↓ 4区 20.9km



## 小田原中継所

↓ 5区 20.8km



往路ゴール

# 箱根駅伝コース（復路）

(読売新聞オンラインより)



1月3日午前8時  
復路スタート  
6区 20.8km



朝8時に往路のタイムに合わせた時差でスタート。朝の冷気による腹痛やけいれんにも注意が必要



100か所以上コーナーのある下りを、いかに口スなく駆けおりるか。高度なテクニックが要求される

残り3km、平地での踏ん張りも大事

小田原中継所  
7区 21.3km ↓



気温差が激しく、気象条件との戦いともいえる区間

下り基調の平たんな前半の後、細かなアップダウンが続く。前半をオーバーペースで走ると、後半は気温の上昇もあり失速を招きかねない

平塚中継所  
8区 21.4km ↓



2区を逆走する最長区間で、復路のエース級が競う。スタートから3kmの下りでペースをつかめるかが肝。優勝やシード権をかけた勝負が明暗を分ける場面も多い。繰り上げスタートもいよいよ気になる

かつては列車にさえぎられ、レールにつまづく選手もいた。現在は高架化で走りやすくなった

都心に戻ると、ビル風が意外な大敵

途中までは1区を逆走するが、馬場先門から京橋や日本橋を抜けてゴールへ

鶴見中継所  
10区 23.0km ↓



箱根駅伝記念像(鶴見中継所)

今までも、そしてこれからも。

明治の今を追い続ける。

明治大学校友会多摩支部の皆様へ

明大スポーツ新聞を応援してください

# 明大スポーツ新聞部

公式X (旧Twitter)  
@meisupo

公式Instagram  
@meisupo\_photo

定期購読は  
こちらから!!



## MEIDAI GOODS NEWS

明治大学校友会多摩支部の皆様へ  
 明治大学明治大学校友会  
 MEIDAI GOODS で応援を！

NEW!!

「新商品

2023年も続々！



どのスポーツ応援にも使える！//

明大ゲートフラッグ  
950 円



競走部扇子  
2,400 円

リニューアル！



ペガサスキャップ 02  
3,000 円

新色！



明大ベースボールキャップ  
ラベンダー 3,000 円

競走部 ナイキTシャツ  
グレー/ネイビー  
M・L・XL  
5,400 円



応援グッズ好評販売中!!!

PICK UP

## 競走部



競走部  
マフラータオル  
1,200 円



競走部ベンチコート  
L・XL  
3,000 円



競走部めいじろうステッカー  
3 枚入 480 円

待望の  
「イノシシ」付き！

## ラグビー部



ラグビーフラッグ  
ペガサス 520 円



【100周年】  
ラグビー部ブランケット  
2,000 円



【100周年】  
ラグビー部マフラータオル  
1,500 円

## 野球部



野球部レプリカ  
ユニフォーム/タイプ4  
S・M・L・LL  
9,500 円



東京六大学野球  
「かっとばし」 1,330 円



野球部ユニフォーム型  
トートバッグ  
2,500 円

最新情報はネットショップへ！

明大グッズネットショップ

<https://meidaigoods.net/>
